

報告書抄録

フリガナ	タテノコフングンハックツチョウサハウコクシヨ							
書名	立野古墳群発掘調査報告書							
副書名								
シリーズ	江南町埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次	第14集							
編著者	森田安彦 新井 端							
編集機関	江南町遺跡調査会・江南町教育委員会							
所在地	〒360-0192 埼玉県大里郡江南町中央1-1							
発行年月日	2005（平成17）年3月22日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号	(° ' ")	(° ' ")			
たてのいせき 立野遺跡	さいたまけんおおさとぐんこうなん 埼玉県大里郡江南 まちおおあざいたい 町大字板井	11065	054	36°6'27" (世界測地系)	139°91'83" (世界測地系)	20021001 5 20030110	6,400	公園造成

所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
立野遺跡	古墳	縄文 古墳	集石1 古墳10 小石室1	縄文土器・石器 古墳土師器・須恵器・ 鉄鏃・大刀・刀子・ 杏葉・紡錘車・砥石	第12号墳より金銅 製杏葉出土

要 約	<p>今回の調査面積は、約8,100㎡で、調査区内からは古墳時代終末期の古墳10基と、小石室1基、縄文時代の集石1基が確認されている。</p> <p>古墳群は、その規模から、①直径20mを超える大型円墳、②直径10m～15mの中型円墳、③直径10m以下の小型円墳の三つに分類され、石室に使用された石材が異なることが確認される。</p> <p>墳丘は全て削平されており、出土遺物は全体的に少ないが、第12号墳石室からは、方頭・圭頭式を含む鉄鏃片が多量に出土しており、太刀・刀子片、足金物等が出土している。また、羨道部覆土中より須恵器の長頸瓶・横瓶・甕が、馬具関連では、羨道部覆土中より金銅製毛彫杏葉が2点、石室内及び周溝内より鉸具2点が出土している。金銅製毛彫杏葉は、県内で初見であり、注目される。</p>
-----	--